



新潟地方本部エルダー協議会 結成総会



エルダー組合員間の
絆をふがめよう!
エルダー社員の
労働環境を改善しよう!

とき: 2022年12月4日(日)
14時30分より
ところ: 新潟市 万代市民会館

●寄せられた「声」より
この会社の魅力はポ
ナスだと思っていたのに

●この会社の魅力はポ
ナスだと思っていたのに

会社回答に妥結せず3・7ヶ月を求める

年末手当 経営側「基準内賃金の2・4ヶ月分に20000円を加えた額」を回答

年末手当回答に妥結せず再考を求め申し入れ

中央本部は10月14日に
申5号「2022年度年末
手当に関する申し入れ」を
提出して以降、団体交渉で
経営側と議論を交わして
きました。

11月11日に行われた第
3回団体交渉の席上で経
営側より「基準内賃金の
2・4ヶ月分に2万円を加
えた額」とする回答が示さ
れました。

会社回答に対して組合
員・社員の間では「期待を
裏切られた」「怒りを超え
てショックだ」といった不
満が渦巻いています。

東日本ユニオンが要求
した3・7ヶ月分と比べ実
質1・24ヶ月分の乖離が
ある上、年間最低6・0ヶ
月以上が安定支給だとす
る組合側の主張からも大
きくかけ離れています。

団体交渉を通じて第2
四半期として3期ぶりの
黒字決算を実現した社員
の奮闘や物価の高騰など

支給額が十分か否かの会社認識は示さず

もろんのこと、さらなる
構造改革を実現するため
の社員投資としてはあま
りにも低額と言えます。

本部申7号・2022年
度年末手当回答の再考を
求める緊急申し入れの団
体交渉は、11月16日に行
いました。

本部交渉団は組合員を
はじめ、労組未加入社員・
他労組組合員から受けた
声を経営側に直接ぶつけ、
3・7ヶ月分の満額支給を
強く迫りました。

経営側は、社員の声を把
握しており、賃金が社員の
生活に直結している実態
は会社として認識してい

●経費削減も頑張り、黒字
になって期待していた分
だけ落胆が大きい

●社員の担当は増えてい
る。労を労うためにもポ
ナスは出すべき

●活躍フィールドを広げ
られ2万円モチベーシ
ョンが上がるわけない

●ポナスは月々の補填
にしている。2・4カ月で
は全然足りない

運輸車両部門の組織再編の目的を質す

新潟地本は10月3日に
団体交渉を行い、新潟支社
における運輸車両部門の
組織再編についての提案
を受けました。

首都圏本部・東北本部に
属さない第3の極である
新潟支社として、乗務員区
所や車両区所での仕事の垣
根を越えた柔軟な働き方
を実現し、企画業務の移管
や業務の融合などを推進
するためとして、乗務員区
所と車両区所の組織再編
を行うとしています。

本提案は乗務員区所の
組織再編、車両区所の組織
再編という大規模な提案
であり、社員にとって働き

団体交渉の日程決定!

申8号
「新潟支社における
運輸車両部門の組織再編
について」に対する
第一次申し入れ
2022年11月25日(金)
9時30分より

団体交渉に向けて
職場からたたかいを
作りだそう!



中央本部は11月16日に
緊急で中央執行委員会を
開催し、協議の結果妥結す
るとの判断を行い、11月
17日、経営側に妥結を回答
しました。



- 1. 本施策の目的を明らかにすること。
- 2. 車両部門を新潟車両センター拠点とする目的を明らかにすること。
- 3. 長岡車両センターを廃止する目的を明らかにすること。
- 4. 新潟運輸区の検修部門を新潟車両センターへ集約する目的を明らかにすること。
- 5. 新潟運輸区を乗務員養成・指導の拠点とする目的を明らかにすること。